

表2 昭和59年度公立幼稚園・小・中・養護学校教職員研究論文入賞者

◎特 選

	種 別	研 究 主 題	学校名・職名・氏名	概 評
1	社 会	読図、作図の能力を高める 地図学習の指導	郡山市立郡山第二中学校 教諭 鷲田 洋	地図に関する指導を通して資料活用能力を育成する研究に取り組み、生徒の実態を的確にとらえた段階的な指導が適切にまとめられている。
2	理 科	雷神山の教材化と個にはたらきかける指導はどうあればよいか。	白河市立白河第一小学校 教諭 深谷 和子	地域素材を通して、自然を鋭く見つめる子どもを育てる指導がよくまとめられている。自立を目指すパンフレットの工夫や個を生かす工夫は高く評価できる。
3	理 科	自ら問題をとらえ追究する子どもを育てるにはどうすればよいか。	会津若松市立鶴城小学校 教諭 加藤 紘一	自ら問題をとらえ追究する子どもを育てるために、4年間の地道な研究をまとめたのはすばらしい。特に、学習の手引書、ノート指導により意欲的に自己評価をする児童の育成に取り組んだ点は高く評価できる。
4	合科的な指導	喜んで学習に参加し自ら学びとる態度を育てるための第1学年における合科的な指導の実践	田村郡三春町立中妻小学校 教諭 国分 道子	2年間にわたる意欲的・計画的な実践記録である。年間指導計画の作成、授業実践を行い、反省に基づいて改善が行われ、その成果がよくまとめられている。

◎入 選

1	国 語	表現に役立てるために段落の要点を確かに読み取らせる指導	いわき市立平第二中学校 教諭 吉田 徹郎	診断カードによる個別指導を行い要点把握の指導に取り組んだ。確かな研究手法により検証し、更に指導実践により確かめている点で示唆に富む研究である。
2	算 数	一斉指導の中における学習のおくれがちな子への指導をどうすすめるか。-「A. 数と計算」領域を中心として	安達郡白沢村立白岩小学校 共同研究(代表)校長 武田 昭三	単元構造表を作成し、「おくれがちな子」のつまずきに対する追指導に焦点を当て、全職員が一体となって取り組んだことは大変すばらしい。
3	算 数	意欲をもって問題を解決し基礎的基本事項を確かに身につける指導はどうすればよいか。	福島市立福島第三小学校 教諭 村上 幸男	問題解決の指導を基盤とした指導過程を組織し、教具の開発や学習の仕方に重点をおいた指導により、多くの成果を上げている点がすばらしい。
4	数 学	「確率・統計」の領域における数学的な考え方や処理能力を身につけさせるための指導の一考察	双葉郡富岡町立富岡第一中学校 教諭 佐々木健二	確率の指導、特に導入時の指導の在り方について実験とそれに伴う考察を、事前・事後テストや把持テストを中心に行い、統計的な確率の意味の導入を図った指導は高く評価できる。
5	美 術	生徒の学習意欲を高める指導	福島市立松陵中学校 教諭 宍戸 賢一	評価視点との関連で指導内容を明確にし、つまずきを予想した指導計画を作成して学習意欲を高めた実践である。論旨も明確であり、研究として多くの示唆を与えてくれる。
6	図画工作	児童が生き生きと取り組む図画工作科の授業をめざして。	いわき市立小名浜第一小学校 教諭 沢 宏一	彫塑学習において、素材体験を取り入れ、意欲的に学習に取り組ませた実践である。一題材の実践から結論を導き出すのは性急であるが、児童の作品の質も高く、本文と資料の関連も適切である。
7	学校保健	自らむし歯の予防に努める児童を育成するにはどうすればよいか。	河沼郡河東町立河東第三小学校 養護教諭 二瓶恵美子	むし歯予防の目標、実践内容が明確に位置づけられ、児童自らの問題として予防に取り組ませるための手だてに工夫がみられるすぐれた研究である。
8	生徒指導	不適応の原因を追究・解消し集団生活のよろこびを感じさせる適応指導の実践的研究	耶麻郡塩川町立塩川小学校 教諭 芳賀 忠夫	児童理解のための豊富な資料の収集と分析に基づいた優れた実践記録のまとめである。